

1.はじめにお読みください

本製品は冷媒管挿入用の空配管(LP管65AまたはSU管65A)に取り付けて使用する部材です。それ以外の目的で使用しないでください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠ 注意 下記が守られなかった場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

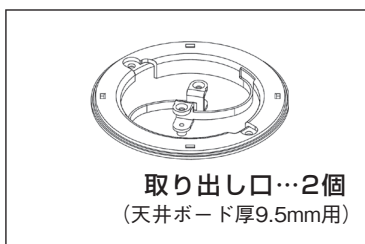
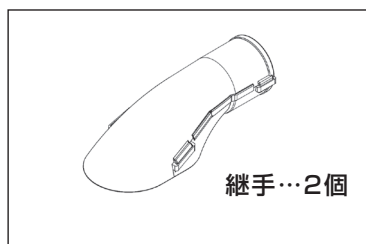
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠ 注意 ●作業時は必ず作業用手袋・ヘルメットなどを着用してください。

お願い ※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- 天井用隠ぺい配管挿入キットは樹脂製のため、落下や無理な取り扱いをすると破損するおそれがありますので、丁寧に取り扱いしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品類は使用しないでください。変色するおそれがあります。

2.セット明細(各部名称)

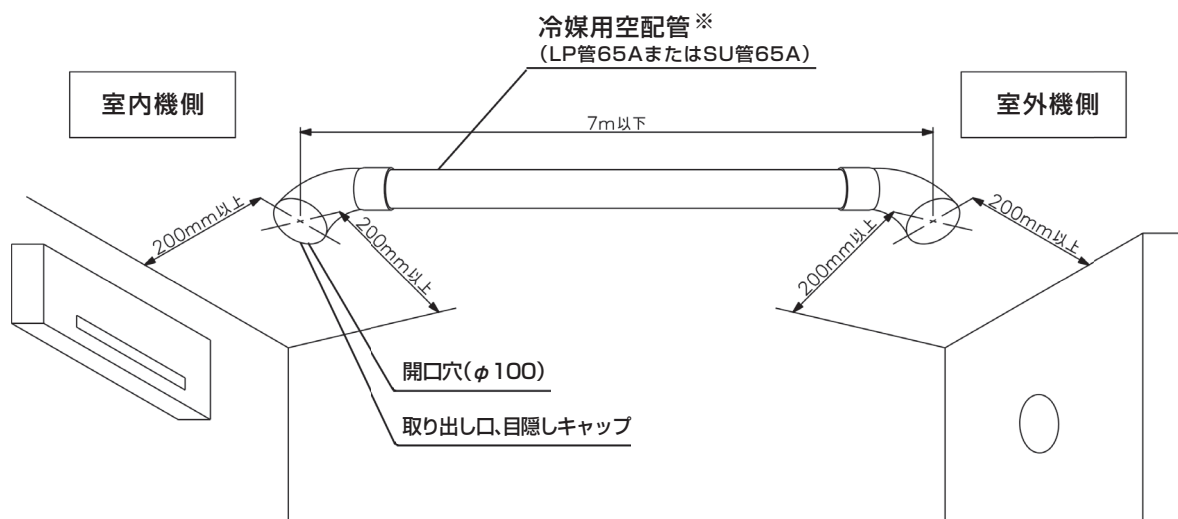


3.取り付け手順

1.設置位置の確認

開口穴(室内機側、室外機側)は壁面から200mm以上離れた位置に設定してください。
開口穴間の距離は、7m以下としてください。

■取り付け図(概略)



※冷媒用空配管は直線のみに対応しています。曲げ箇所は設けないでください。

2.冷媒用空配管の取り付け

(1)冷媒用空配管(LP管65AまたはSU管65A)を穴間距離から(290~)300mm短くした長さで切断します。(図1)

❷ 冷媒用空配管は直線のみに対応しています。エルボなど継手は使用できません。

(2)切断した冷媒用空配管の端部に継手を塩ビ接着剤で接着してください。
(接着した継手と冷媒用空配管は天井下地を組む前に、天井に仮固定してください)

(3)天井下地組み

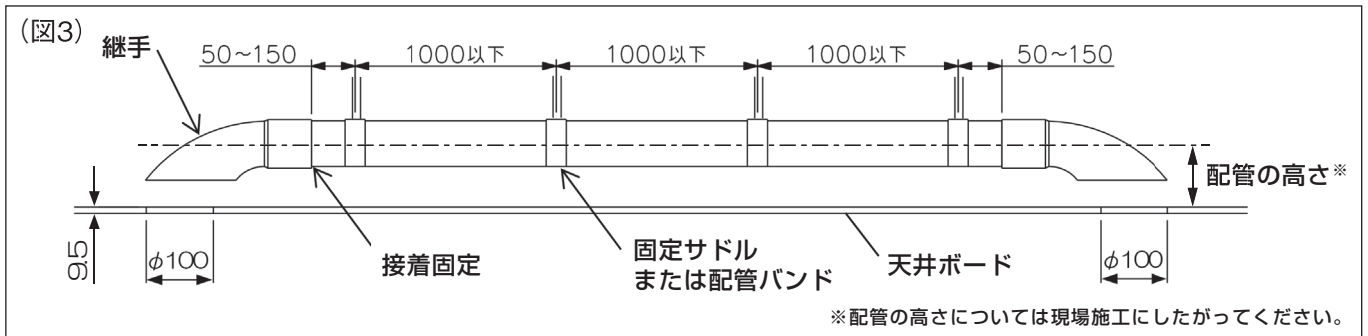
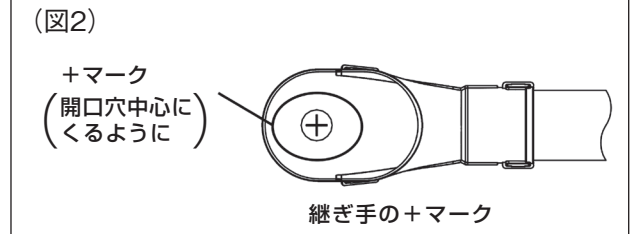
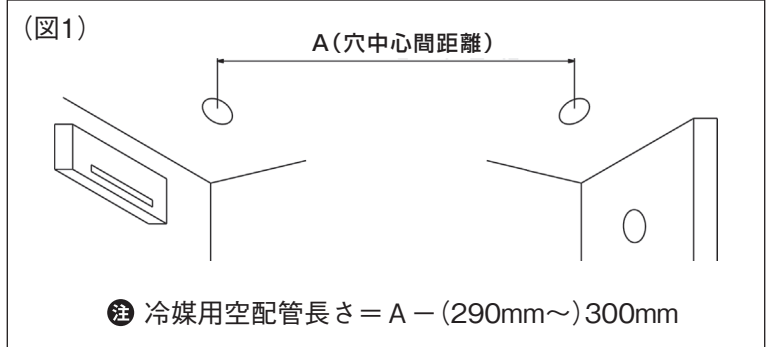
(4)位置合わせ

現場で指定された開口穴中心位置に継手内面の「+」マークがくるように、レーザー墨出し器を使用して位置合わせを行ってください。(図2)
(室内機側、室外機側とも同じです)

(5)冷媒用空配管の固定

冷媒用空配管を固定サドルまたは配管バンドで天井にしっかりと固定してください。

冷媒用空配管の固定は、管端部から50mm以上150mm以下に必ず1箇所設け、それ以降は1000mmピッチ以下で固定してください。(図3)



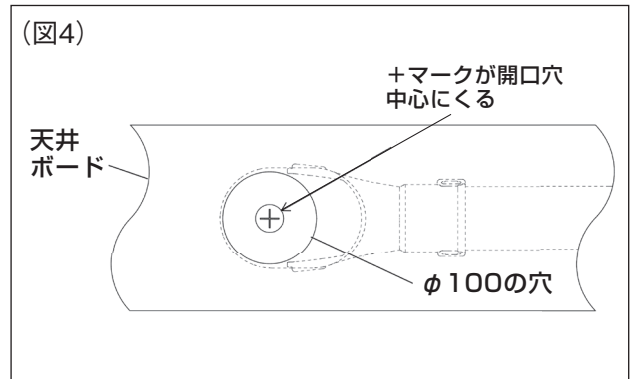
3.天井ボード貼り

天井ボード貼り後に継手位置が分かるよう、天井ボードを貼る前に継手の「+」マーク位置にレーザー墨出し器を照射してください。(レーザー照射位置が○の中に入るようにしてください。)

レーザー墨出し器の位置合わせを行った状態で、天井ボードを貼り、レーザー墨出し器の位置を中心としたφ100の穴を開けてください。

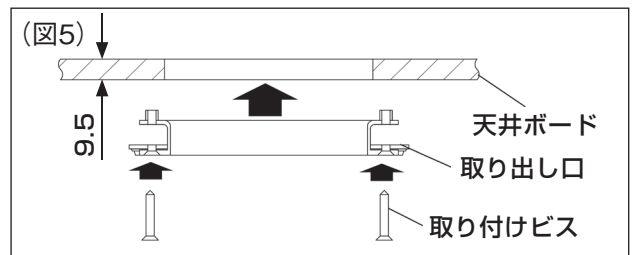
開口後、穴位置の中心に継手の「+」マークがきていることを確認してください。

反対側も同様に天井にφ100の穴を開けてください。(図4)



4.取り出し口の取り付け

取り出し口を天井ボードに取り付け、取り付けビスで固定してください。(図5)



5.目隠しキャップの取り付け

目隠しキャップを取り出し口に押し込んで固定してください。(図6)

